

平成28年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成 28年10月12日

上場会社名 株式会社アメイズ 上場取引所 福証  
 コード番号 6076 URL http://www.az-hotels.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴見 賢一  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 児玉 幸子 (TEL) 097(524)3301  
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年11月期第3四半期の業績（平成27年12月1日～平成28年8月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第3四半期	9,106	14.5	1,527	25.8	1,194	21.1	654	9.3
27年11月期第3四半期	7,956	0.9	1,214	15.6	986	13.6	598	20.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第3四半期	43.05	—
27年11月期第3四半期	39.40	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年11月期第3四半期	27,636	6,803	24.6
27年11月期	25,213	6,455	25.6

(参考) 自己資本 28年11月期第3四半期 6,803百万円 27年11月期 6,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	—	—	20.00	20.00
28年11月期	—	—	—	—	—
28年11月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の業績予想（平成27年12月1日～平成28年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,407	13.7	1,906	13.5	1,433	6.1	874	8.2	57.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年11月期3Q	15,204,000株	27年11月期	15,204,000株
28年11月期3Q	278株	27年11月期	278株
28年11月期3Q	15,203,722株	27年11月期3Q	15,203,727株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による施策を背景に緩やかな景気回復の兆しはあるものの、個人消費の停滞、企業景況感の陰りから下振れ懸念を払拭できておらず、また、中国を始めとする新興国の景気下振れや英国EU離脱問題による混乱等不安定な世界経済の潜在的なリスク懸念から、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、熊本地震による風評被害で九州内の需要が低下しておりましたが、復興クーポンにより九州内の観光客は回復の兆しがあり、また、訪日外国人数は依然として増加しており、ビジネス、観光ともに需要が回復してきております。しかし、不安定な世界情勢、訪日外国人の個人消費の低下、九州内では未だ熊本地震による風評被害を払拭しきれない状況や人材不足による人件費の上昇等により、ホテル市況の本格改善には、なお時間を要するものと思われまます。

当社においては、当第3四半期会計期間に、133室タイプのHOTEL AZ大分佐伯店及び香川東かがわ店の2店舗を新規出店し、今期の出店数は10店舗となりました。既存店舗においては、特に昨年開店した91室タイプ店舗の知名度の向上により利用が増加いたしました。このように新規出店、知名度の向上によりHOTEL AZブランドの定着及びドミナント化を推進し、集客力強化を図ってきました。しかし、熊本地震により熊本大津店が被災し、営業を停止するとともに、修繕による原状回復義務等を特別損失に計上いたしました。なお、熊本大津店におきましては、平成28年9月20日に営業を再開いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は91億6百万円（前年同期比14.5%増）、営業利益は15億27百万円（前年同期比25.8%増）、経常利益は11億94百万円（前年同期比21.1%増）、四半期純利益は6億54百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

なお、当第3四半期会計期間末における店舗数は、ホテル店舗が75店舗（直営店72店舗、FC3店舗）、館外飲食店舗が5店舗であります。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況について

当第3四半期会計期間末における総資産は276億36百万円となり、前事業年度末と比べ24億23百万円の増加となりました。

流動資産は12億49百万円となり、前事業年度末と比べ1億17百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が1億44百万円増加したことによるものであります。

固定資産は263億87百万円となり、前事業年度末と比べ23億6百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産が21億75百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は208億33百万円となり、前事業年度末に比べ20億75百万円の増加となりました。

流動負債は68億33百万円となり前事業年度末と比べ5億26百万円の増加となりました。これは主に未払法人税等が2億72百万円、災害損失引当金が1億72百万円増加したことによるものであります。

固定負債は140億円となり、前事業年度末と比べ15億49百万円の増加となりました。これは主にリース債務が21億4百万円増加し、長期借入金が増加した5億10百万円減少したことによるものであります。

純資産は68億3百万円となり、前事業年度末に比べ3億47百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が増加した3億50百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、通期の業績予測に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

現時点では、通期の業績予想に変更はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法へ変更しております。

なお、この減価償却方法の変更が四半期財務諸表に与えた影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	595	740
売掛金	173	206
商品	4	5
原材料及び貯蔵品	57	75
未収法人税等	151	—
その他	153	225
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	1,132	1,249
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,518	10,017
土地	3,586	3,562
リース資産（純額）	8,789	10,769
その他（純額）	1,277	997
有形固定資産合計	23,171	25,347
無形固定資産		
132	132	186
投資その他の資産		
その他	777	854
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	777	853
固定資産合計	24,081	26,387
資産合計	25,213	27,636

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	132	161
短期借入金	2,250	2,250
1年内返済予定の長期借入金	2,769	2,769
リース債務	305	182
未払法人税等	—	272
賞与引当金	—	35
ポイント引当金	31	89
災害損失引当金	—	172
その他	818	899
流動負債合計	6,307	6,833
固定負債		
長期借入金	6,303	5,792
リース債務	5,888	7,993
退職給付引当金	39	37
役員退職慰労引当金	72	29
資産除去債務	132	133
その他	14	14
固定負債合計	12,450	14,000
負債合計	18,757	20,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299	1,299
資本剰余金	500	500
利益剰余金	4,649	4,999
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,449	6,799
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6	3
評価・換算差額等合計	6	3
純資産合計	6,455	6,803
負債純資産合計	25,213	27,636

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)
売上高	7,956	9,106
売上原価	1,072	1,100
売上総利益	6,884	8,005
販売費及び一般管理費	5,669	6,477
営業利益	1,214	1,527
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	0	0
受取賃貸料	30	30
助成金収入	—	11
その他	6	4
営業外収益合計	40	50
営業外費用		
支払利息	268	382
その他	0	0
営業外費用合計	268	383
経常利益	986	1,194
特別利益		
固定資産売却益	—	38
特別利益合計	—	38
特別損失		
固定資産除却損	6	1
災害による損失	—	184
特別損失合計	6	185
税引前四半期純利益	980	1,047
法人税、住民税及び事業税	309	490
法人税等調整額	72	△97
法人税等合計	381	392
四半期純利益	598	654

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、報告セグメントがホテル宿泊事業一つであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。